※令和３年度以前入学生用

学校番号	T1202

令和５(2023)年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	（通信）体育	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「最新高等　保健体育」（大修館書店）						
副教材等	特になし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・集団行動や各種目の中で、仲間と協力することや、自分の役割を果たす態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保するために、準備運動や体操服の着用が適切にできる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己の体調を管理・把握し、適切な運動をおこなうことができる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。
評価方法	受講態度の観察 服装等の確認 等	レポート 口頭試問 等	技能観察 技能試験 等	レポート 口頭試問 等

※令和３年度以前入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	球技 ネット型 ゴール型	体つくり運動 体ほぐし運動 ゴール型 バスケットボール ネット型 ソフトバレーボール	○	○	○	○	a: 準備運動や体操服の正しい着用など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとしている。 b:自己の体調や体力に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方を理解している。	受講態度の観察 服装等の確認 技能観察 技能試験 レポート 等
	球技 ネット型	体つくり運動 体ほぐし運動 ネット型 テニス ショートテニス 体育理論 運動・スポーツの学び方 1.　スポーツの技術と技能 2.　技能の上達過程と練習 3.　技能と体力	○	○	○	○	a: 準備運動や体操服の正しい着用など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとしている。 b:自己の体調や体力に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方を理解している。	受講態度の観察 服装等の確認 技能観察 技能試験 レポート 等

※令和３年度以前入学生用

後期	球技 ゴール型	体つくり運動 新体力テスト ゴール型 ソフトボール サッカー ※上記の種目より選択 体育理論 運動・スポーツの学び方 4. 体力トレーニング 5. 運動・スポーツにおける安全の確保	○	○	○	○	a: 準備運動や体操服の正しい着用など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとしている。 b:自己の体調や体力に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方を理解している。	受講態度の観察 服装等の確認 技能観察 技能試験 レポート 等
	球技 ネット型	体つくり運動 体ほぐし運動 ネット型 バドミントン 体育理論 豊かなスポーツライフの設計 1. 生涯スポーツの見方・考え方 2. ライフスタイルにおうじたスポーツ 3. 日本のスポーツ振興 4. スポーツと環境	○	○	○	○	a: 準備運動や体操服の正しい着用など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとしている。 b:自己の体調や体力に応じた運動の取り組み方を工夫している。 C球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方を理解している。	受講態度の観察 服装等の確認 技能観察 技能試験 レポート 等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。